

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター施設管理事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	吹田市立男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、吹田市男女共同参画条例、吹田市立男女共同参画センター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	60							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民および事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民および事業者へ自主的な活動の場を提供することで、男女共同参画の推進を図る。 地域での学び、社会参加の促進及び男女共同参画の推進。												
(7) 事業概要	<p>使用を希望する団体は、使用日の3か月前の日が属する月の初日から、使用日まで「男女共同参画センター使用許可申請書」に使用料を添えて申し込む。用途に応じて、10室(研修室1、研修室2、視聴覚室、第1会議室、第2会議室、生活科学室、実技研修室、和室、工芸室、実験室)の貸室がある。</p> <p>男女共同参画の推進に関する活動を当センターを拠点として行う団体・グループに対し、ロッカーの貸出しや印刷機使用等の支援を行っている。また、グループ間の交流や情報交換を促進するための取組みを実施している。</p> <p>施設の維持管理に必要な清掃・保安警備・電気機械等設備保守・環境衛生管理等については業者委託し、良好な環境の維持に努めている。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,912	23,570	24,136	24,964	26,541							
	人件費	職員数	人	1.25	1.25	1.30	1.30	1.30						
		総額(B)	千円	10,375	9,934	10,858	10,858	10,621						
	総事業費(A+B)		33,287	33,504	34,994	35,822	37,162							
	特定財源(C)		3,748	3,769	3,751	3,264	3,751							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	3,748	3,769	3,751	3,264	3,751							
	市負担(D)		29,539	29,735	31,243	32,558	33,411							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		29,539	29,735	31,243	32,558	33,411								
財源計(C+D)		33,287	33,504	34,994	35,822	37,162								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	双葉化学商会、ダイイチサービス他										
			②											
			③											
	主な委託内容		清掃、保安警備他 計16業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開館日に対する利用件数	目標値	(単位:件)	3,440.00	3,440.00	3,440.00
			実績値	(単位:件)	4,213.00	3,878.00	/	
		達成度(%)			122.5	112.7		
	目標値の積算方法	年間開館日数×10室 (平成26年度 344日、平成27年度 344日、平成28年度 344日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.95		9.24
				一般財源(単位:千円)		7.06	8.40	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	団体・グループの活動が促進され、交流や情報交換が深まることで、男女共同参画社会の実現をはかる。			達成状況	男女共同参画社会形成の実現を推進する。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>施設の維持管理に関しては業務委託を行っている。男女共同参画を推進する施設として設置されている当センターにおいては、単なる貸室としての利用のみならず、当センターを利用する団体・グループ間の交流や情報交換の場として、発展してきた経緯がある。当施設は建設から30年近く経過しており、年次的な修繕が必要になってきている。</p> <p>平成26年度から、従来休館日だった月曜日を開館したことにより利用件数や使用料収入は増えたが、今後さらなる周知が必要と考えている。</p> <p>今後も利用者の多様なニーズに対応し、男女がともに活躍できる場を提供することに主眼を置いた運営を目指しつつ、効果的な事業のあり方を検討していく必要があると考える。</p> <p>市民の社会参画を促進し、男女共同参画の推進をめざす市民活動・交流を支援するために、施設利用の有効性や持続可能性のさらなる研究を進めていく。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00164				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00164
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>男女共同参画を推進する拠点施設として、貸館等で市民グループの活動支援を行うことができ、また情報提供の場としても、多くの市民に利用されている。 施設の維持管理の面では、昭和62年の開館から30年近くが経過しており、年次的な修繕の必要が出てきている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター運営事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、事業者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	多くの市民、事業者にとって利用しやすい施設にする												
(7) 事業概要	男女共同参画センター運営審議会の開催及び男女共同参画のための意識啓発講座、社会参加促進支援講座等の講座や講演会の企画等のための非常勤職員を任用することにより、男女共同参画社会を推進する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		21,576	21,093	17,682	17,368	18,508							
	人件費	職員数	人	1.25	1.25	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	10,375	9,934	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		31,951	31,027	21,858	21,544	22,593							
	特定財源(C)		55	66	74	72	79							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	55	66	74	72	79							
	市負担(D)		31,896	30,961	21,784	21,472	22,514							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		31,896	30,961	21,784	21,472	22,514								
財源計(C+D)		31,951	31,027	21,858	21,544	22,593								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 運営審議会開催回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	予算の範囲内	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15,513.50	10,772.00	
				一般財源(単位:千円)		15,513.50	10,736.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
				目標				
		男女共同参画センターの円滑な運営		達成状況	審議会での審議がフィードバックされた形のセンターの円滑な運営及び効果的な事業の推進			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		男女共同参画センター運営審議会の開催、講座の企画等のための非常勤職員を任用することにより、男女共同参画社会を推進する。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00165				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00165
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>運営審議会は男女共同参画センターの事業運営に関して行政外部から意見を聞く場であり、市民の声を反映した運営を進めていくためには今後も継続していく必要があると考える。事業を担っている非常勤職員に関しては、専門知識をいかしながら常に情報を収集し、多様な市民ニーズを取り入れた講座の企画、運営や情報提供等を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター主催講座等事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	60							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	男女共同参画社会の推進												
(7) 事業概要	男女共同参画を推進する視点に立って、意識啓発講座、社会参加促進支援講座等の講座を開催するほか、男女共同参画推進員の養成講座を実施した。男女共同参画推進員として講座の企画、運営等を職員と協働で行うことで更なる人材育成を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,102	2,674	3,468	3,137	3,468							
	人件費	職員数	人	1.39	1.39	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	11,537	11,047	16,704	16,704	16,340						
	総事業費(A+B)		14,639	13,721	20,172	19,841	19,808							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		14,639	13,720	20,172	19,841	19,808							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		14,639	13,720	20,172	19,841	19,808								
財源計(C+D)		14,639	13,720	20,172	19,841	19,808								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 開催講座等回数	目標値	(単位:回)	121.00	125.00	136.00
			実績値	(単位:回)	132.00	153.00	
			達成度(%)		109.1	122.4	
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	103.95	129.68	
				一般財源(単位:千円)	103.95	129.68	
	(2) 成果指標	②	指標内容 開催講座等受講許可者数	目標値	(単位:人)	2,237.00	2,769.00
実績値				(単位:人)	3,441.00	5,355.00	
達成度(%)				153.8	193.4		
目標値の積算方法		実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.99	3.71	
				一般財源(単位:千円)	3.99	3.71	
(3) が困難な場合		①	指標内容 開催講座等応募者数	目標値	(単位:人)	2,514.00	3,011.00
	実績値			(単位:人)	3,502.00	5,544.00	
	達成度(%)			139.3	184.1		
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.92	3.58	
				一般財源(単位:千円)	3.92	3.58	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容	主催講座等の実施			目標	男女共同参画社会の実現	
	②	成果内容	参加したことで意識が変わること及び社会参加しようとする事			達成状況	男女共同参画社会の推進
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		男女共同参画を推進する視点に立って、意識啓発や、社会参加促進支援講座等の課題解決に向けた多様な講座を開催し、性別にとらわれることなく主体的に選択し行動するための支援を行ってきた。今後も現代社会において男女問わずいろいろな場面で生き辛さを抱えている人々に新たな気づきの機会を提供する必要がある。また、男女共同参画推進員を養成し、職員とともに講座の企画、運営等で活動することでさらに人材育成を図り、男女共同参画社会の実現を目指す。				

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催講座等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00166				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

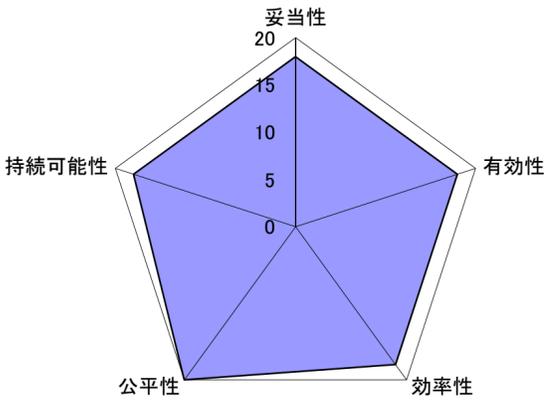
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00166
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

課題解決のきっかけとすることが主たる目的となる講座に関して、応募者数が多いものについては、複数回同じテーマで開講するなど、市民目線に立った講座運営を心がけている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画を推進する拠点施設として、意識啓発や課題解決に向けた多様な講座を開催し、性別にとらわれることなく主体的に選択し行動するための支援を行ってきた。今後も、現代社会において男女問わずいろいろな場面で生き辛さを抱えている人々に新たな気づきの機会を提供していくとともに、男女共同参画推進員の養成等、広く人材を育成し、職員とともに講座の企画、運営等で活動することでさらに人材育成を図り、男女共同参画社会の実現を目指してさらに取組みを進めていく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター保育事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	60							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	保育スタッフを目指す市民及び保育を希望する市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	保育スタッフの育成と保育事業の充実												
(7) 事業概要	<p>男女共同参画の推進のため、地域で活動する保育ボランティアを養成する講座を実施しており、その修了生が男女共同参画推進員となり、当センター主催講座の保育を担うとともに、必要な保育技術の習得や、資質の向上を目的として研修を実施するなど、人材の育成を行っている。また、主催講座や男女共同参画推進員活動に保育をつけることによって、女性の社会進出がさらに促進されるよう努めている。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		979	1,140	979	1,051	1,403							
	人件費	職員数	人	0.12	0.12	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	996	954	2,506	2,451							
	総事業費(A+B)		1,975	2,094	3,485	3,557		3,854						
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	(内訳)	その他		0	0	0	0							
		市負担(D)		1,975	2,094	3,485	3,557							
		地方債		0	0	0	0							
(内訳)	その他		0	0	0	0								
	一般財源		1,975	2,094	3,485	3,557								
	財源計(C+D)		1,975	2,094	3,485	3,557								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
主な委託内容														
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	保育スタッフ登録者数	目標値	(単位:人)	142.00	128.00	110.00
			実績値	(単位:人)	95.00	86.00	/	
		達成度(%)		66.9	67.2			
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	22.04	41.36		
				一般財源(単位:千円)	22.04	41.36		
	(2) 成果指標	②	指標内容	保育スタッフ活動回数	目標値	(単位:回)	193.00	189.00
実績値				(単位:回)	298.00	249.00	/	
達成度(%)			154.4	131.7				
目標値の積算方法		実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.03	14.29		
				一般財源(単位:千円)	7.03	14.29		
(3) が困難な場合		①	指標内容	保育スタッフ活動人数	目標値	(単位:人)	674.00	776.00
	実績値			(単位:人)	879.00	797.00	/	
	達成度(%)		130.4	102.7				
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.38	4.46		
				一般財源(単位:千円)	2.38	4.46		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	保育付き講座及び参画スタッフ活動における一時保育の実施			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		他施設の事業との関係も考慮しながら、当センターや地域での保育付事業の拡大を図る。また、主催講座や男女共同参画推進員活動に保育をつけることによって、女性の社会進出がさらに促進されるよう努める。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00167				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00167
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は子育て中の女性の社会参画が男女共同参画社会の推進に寄与することから、男女共同参画センターで活動する男女共同参画推進員(保育スタッフ)を養成するだけでなく、地域における保育ニーズに対応できる人材を育成していくことも目的としている。多様化する保育ニーズに的確に対応していくため、今以上に活躍の場を開拓し、他部署との連携も進めていく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター事業者向け研修会等事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	就労における男女共同参画の推進												
(7) 事業概要	職場における男女共同参画の実現のため、育児介護休業法などの制度の周知、キャリア教育、ダイバーシティなどの啓発、研修会を実施するなどして、事業者に積極的に働きかける。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	2	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		30	30	30	60	87							
	人件費	職員数	人	0.12	0.12	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	996	954	836	836	817						
	総事業費(A+B)		1,026	984	866	896	904							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,026	984	866	896	904							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,026	984	866	896	904								
財源計(C+D)		1,026	984	866	896	904								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 研修会の開催回数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	1.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	200.0		
	目標値の積算方法	前回実績開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		984.00	448.00	
				一般財源(単位:千円)		984.00	448.00	
	②	指標内容 研修会の参加者数	目標値	(単位:人)	67.00	43.00	79.00	
実績値			(単位:人)	41.00	129.00			
達成度(%)			61.2	300.0				
目標値の積算方法		実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		24.00	6.95	
	一般財源(単位:千円)				24.00	6.95		
(2) 成果指標	①	指標内容 育児休業制度の利用があった事業所	目標値	(単位:%)	20.00	20.00	20.00	
			実績値	(単位:%)	10.30	7.80		
			達成度(%)		51.5	39.0		
	目標値の積算方法	吹田市労働事情調査(3年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		95.53	114.87	
				一般財源(単位:千円)		95.53	114.87	
	②	指標内容 介護休業制度の利用があった事業所	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00	
			実績値	(単位:%)	1.80	0.50		
			達成度(%)		18.0	5.0		
目標値の積算方法		吹田市労働事情調査(3年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		546.67	1,792.00	
	一般財源(単位:千円)				546.67	1,792.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		実施する事業所を増やす必要があり、事業所への出前講座と合わせて、全事業所に行き渡るより効果的な啓発方法を検討する必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター事業者向け研修会等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00168				

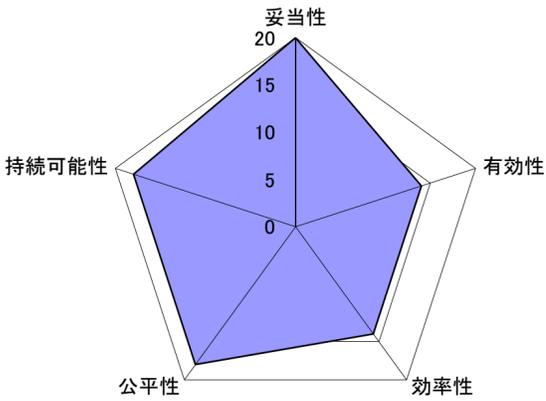
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00168
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>職場における男女共同参画の実現のため、就労環境の改善や意識啓発のための研修を推進し、吹田商工会議所とも連携して、育児休業法などの制度の周知、キャリア教育、ダイバーシティなどの研修の実施を事業者に積極的に働きかける必要があると考える。評価は高いが、開催方法等については関係部署と検討の必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター調査研究事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	吹田市立男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、吹田男女共同参画推進条例、吹田市立男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	調査研究を通じた課題解決とその他事業の目標の明確化												
(7) 事業概要	男女共同参画を推進するための課題を調査、研究し、事業にフィードバックする。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	2	小事業	4
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		155	124	300	300	126							
	人件費	職員数	人	0.12	0.12	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	996	954	836	836	817						
	総事業費(A+B)		1,151	1,078	1,136	1,136	943							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,151	1,078	1,136	1,136	943							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,151	1,078	1,136	1,136	943								
財源計(C+D)		1,151	1,078	1,136	1,136	943								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:%)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:%)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	男女共同参画社会を推進するための課題について調査研究を行う。			目標	男女共同参画社会の実現
	②	成果内容	事業にフィードバックすること。調査研究の内容は固定していないため、成果内容の目標値の積算方法は調査研究ごとに変わる。平成27年度は相談事業の調査研究だったため、指標を設定した。			達成状況	本来数値で指標を示すことが困難ではあるが、調査研究で得た課題や市民ニーズを事業に反映するよう努めている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>平成14年に男女共同参画センターとなってから平成24年度までは5年に1度、大規模な市民アンケートを実施し、調査結果を市民スタッフとともに分析し報告書を作成する方法で行ってきたが、人材育成に時間と費用がかかることと男女共同参画室で5年に1度アンケート調査を行っていることから、センターでは平成25年度から、1年目に具体的な課題に特化し、学識経験者等からの教示を受けながら調査分析を行い、翌2年目に報告書等成果物を作成する方法にシフトしたことにより、事業へのフィードバックにはより効果的となっている。</p> <p>調査研究の内容は固定化されておらず、経年的に同一の指標を設定することは困難ではあるが、条例で定めているように重要な事業であるため、今後もより効果的な実施方法を検討しながら進める必要がある。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター調査研究事業	事業区分	その他
事務事業番号	00169				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00169
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

同調査研究において平成27年度は相談事業の調査研究を行った。その結果、「相談件数が少ないという状況は、市民の相談ニーズを十分にはくみ取れていないと推察される。相談開設時間の変更や拡充を図り、市民に相談が利用しやすい状況にすることが必要。」という課題が明らかになり、平成28年度からは市民が気軽に利用できる女性相談を目指し、電話相談の拡充や広報の強化を図る予定である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>同調査研究事業は男女共同参画センター条例で定められている6つの事業のうちの一つであり、平成25年度から実施方法を見直し1サイクルを2年にして実施している。1年目は具体的な課題に特化し、学識経験者等からの教示を受けながら調査分析を行い、翌2年目に報告書等成果物を作成する方法にシフトしたことにより、事業へのフィードバックにはより効果的となっている。調査研究の内容は固定化されておらず、常に利用者の声やセンター運営の課題を意識してその時点で必要な調査研究を行っており、経年的に同一の指標を設定できないとしてもセンターの運営全体にとって必要な事業であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	女性のための相談事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年	改正内容	吹田市立男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、吹田市男女共同参画推進条例、吹田市立男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内在住在勤在学の女性											
	結果(どのような効果が得られるのか)	悩みを抱える女性が自ら悩みを解決する力を身につける。 男女が共に対等な社会の構成員として、主体的に生き生きと活動し安心して暮らすことができる男女共同参画の推進に寄与する。												
(7) 事業概要	<p>【電話相談】毎水曜日、10:00～17:00(専用回線1回線、女性カウンセラー)</p> <p>【悩みの相談】毎土曜日(第5除)10:00～14:45(面接相談、予約制1日4枠、女性カウンセラー)</p> <p>【法律相談】第2土曜日 13:30～17:00(面接相談、予約制、1日7枠、女性弁護士)</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,295	2,287	2,283	2,274	2,380							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	2,075	1,987	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		4,370	4,274	3,954	3,945	4,014							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,370	4,274	3,954	3,945	4,014							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,370	4,274	3,954	3,945	4,014								
財源計(C+D)		4,370	4,274	3,954	3,945	4,014								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 大阪弁護士会											
			②											
			③											
	主な委託内容		法律相談について大阪弁護士会に委託											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 「悩みの相談」実施件数 (キャンセル26年度49件、27年度44件)	目標値	(単位:件)	180.00	188.00	/	
			実績値	(単位:件)	123.00	130.00		
			達成度(%)		68.3	69.1		
	目標値の積算方法	実施枠数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	34.75	30.35		
				一般財源(単位:千円)	34.75	30.35		
	②	指標内容 「法律相談」実施件数	目標値	(単位:件)	84.00	84.00		/
実績値			(単位:件)	65.00	71.00			
達成度(%)			77.4	84.5				
目標値の積算方法	実施枠数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	65.75	55.56			
			一般財源(単位:千円)	65.75	55.56			
(2) 成果指標	①	指標内容 「悩みの相談」利用者の満足度が80%を超える割合 (平成26年度より実施)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/	
			実績値	(単位:%)	76.92	71.87		
			達成度(%)		76.9	71.9		
	目標値の積算方法	利用者アンケート結果	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	55.56	54.89		
				一般財源(単位:千円)	55.56	54.89		
	②	指標内容 「法律相談」利用者の満足度が80%を超える割合(平成26年度に実施)	目標値	(単位:%)	100.00	0.00		/
			実績値	(単位:%)	73.68	0.00		
			達成度(%)		73.7	0.0		
目標値の積算方法	相談事業利用者アンケート結果。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	58.01	0.00			
			一般財源(単位:千円)	58.01	0.00			
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容 「電話相談」		目標	相談者自らが問題を解決する力を身につける			
	②	成果内容 相談された事案の解決		達成状況	解決件数は把握できないが、受付窓口で相談員に対するお礼の伝言を聞くこともあり、成果は達成されていると考えている。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>女性が抱えるさまざまな生き辛さに気づき、女性が自らエンパワメントを目指すために、インテークや他の機関との連携などは研修を受講したセンターの職員が行い、より専門的な電話や面談でのカウンセリング等については専門家に依頼し、当相談事業に係る職員と専門家全員でケース検討ならびに連携会議を行うことで、事業全体を効率よく行う工夫ができています。</p> <p>平成26年度に引き続き、相談事業利用者の満足度向上とさらなる相談ニーズの充足を図るために、アンケートを実施した結果、ほとんどの利用者が相談そのものに高い満足度を示していることから、有効性の高い事業だと認識している。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	女性のための相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00170				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00170
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年度からはより市民が気軽に利用できる女性相談を目指し、電話相談の相談日を拡充し、実施方法も変更する予定である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>女性が抱える様々な生きづらさに気づき、女性が自らエンパワーメントを目指すために、電話や面談でのカウンセリング等の相談事業を行っている。男女ともに固定的な性別役割分担意識にとらわれることで何かと不利な立場に置かれやすい女性のための悩み相談は、男女共同参画を推進する上で今後も必要な事業であると考え。市民ニーズを図るため相談者にアンケートをとるなど、成果の把握に努めてはいるが、業務体制の問題で全相談のニーズ把握を毎年度することが困難な状況もあり、今後検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

調査研究事業の中で行った近隣自治体相談事業調査では、①吹田市は、女性問題・男女共同参画への取り組みの先進都市で、「女性の生き方相談」も昭和63年から開始している。しかし、近隣都市に比べて相談件数が少ない。②人口が増加している北摂地域の3都市で、人口が30万人を超える場合、吹田市 417件・豊中市 1,877件・茨木市 3,874件 となっている。③相談開始年が早い都市順で比較すると、高槻市[昭和58年(1982年)度]521件・吹田市[昭和63年度(1987年)度]417件、宝塚市[平成元年(1989年)度]967件となっている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター情報収集・提供事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	男女共同参画センター条例											
(2) 直近の改正	平成14年度													
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	60							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	情報を収集し提供することにより、男女共同参画の推進を図る。												
(7) 事業概要	情報ライブラリーにおいて、男女共同参画に関するさまざまなジャンルの図書や資料、DVDなどの情報を収集し、来館者に提供するほか、利用にあたっての相談やレファレンス業務にも対応している。また、インターネットによる蔵書検索や市立図書館との横断検索を実施している。保育付きの読書会やDVDの上映を行うことで、子育て中の市民の利用促進を図っている。情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するため、男女共同参画推進員活動を推進している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,993	2,946	5,415	4,650	4,788							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,075	1,987	2,506	2,506	2,451						
	総事業費(A+B)		5,068	4,933	7,921	7,156	7,239							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		5,068	4,933	7,921	7,156	7,239							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,068	4,933	7,921	7,156	7,239								
財源計(C+D)		5,068	4,933	7,921	7,156	7,239								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	富士通マーケティング										
			②											
			③											
	主な委託内容		図書管理システム保守料											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 貸出登録者数	目標値	(単位:人)	3,247.00	3,450.00	3,634.00
			実績値	(単位:人)	3,648.00	3,797.00	
			達成度(%)		112.3	110.1	
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.35	1.88	
				一般財源(単位:千円)	1.35	1.88	
	(2) 成果指標	②	指標内容 男女共同参画推進員活動回数	目標値	(単位:回)	1,866.00	1,866.00
実績値				(単位:回)	1,866.00	1,468.00	
達成度(%)				100.0	78.7		
目標値の積算方法		過去実績値の平均(平成26年度からの事業)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.64	4.87	
				一般財源(単位:千円)	2.64	4.87	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容 貸出冊数	目標値	(単位:冊)	4,513.00	4,696.00
	実績値			(単位:冊)	4,542.00	5,424.00	
	達成度(%)			100.6	115.5		
	目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.09	1.32	
				一般財源(単位:千円)	1.09	1.32	
	②	指標内容 保育付き読書及びDVD上映会の参加者数	目標値	(単位:人)	98.00	143.00	177.00
実績値			(単位:人)	223.00	223.00		
達成度(%)			227.6	155.9			
目標値の積算方法	実績値過去3年の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	22.12	32.09		
			一般財源(単位:千円)	22.12	32.09		
①	活動内容	図書等の貸出・レファレンス			目標	男女共同参画社会の実現	
	②	成果内容	レファレンス等により目的を達したり、学習が進むこと			達成状況	レファレンス等により目的を達したり、学習が進んだ人の増加
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		男女共同参画推進員(情報ライブラリースタッフ)とともに、新聞クリッピング、新刊図書紹介のPOP作成、テーマ展示、Duo Libraryの作成等により、利用促進及び効果的な情報発信に努めている。また、保育付き読書及びDVD上映会を開催することにより、女性の育児ストレスの解消やリフレッシュにつながっている。情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するため、男女共同参画推進員活動を推進している。				

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター情報収集・提供事業	事業区分	その他
事務事業番号	00171				

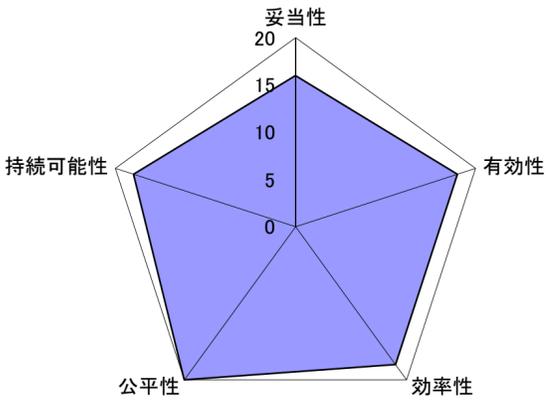
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		⑤持続可能性		
		⑥持続可能性		
		⑦持続可能性		
		⑧持続可能性		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	00171
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画推進員(情報ライブラリースタッフ)との協働で、新聞クリッピング、新刊図書紹介のPOP作成、テーマ展示、Duo Libraryの作成等を進め、利用者の利便と周知を図っている。また、これにより団体やサークル等の貸室利用者も気軽に立ち寄ることができている。情報ライブラリーは、講座受講後の学習や参画スタッフによる講座企画、広報活動等に欠かせないものであるため、今後ともさらに有効な活用方法を検討していく必要があると考える。また、情報ライブラリーの円滑な運営及び男女共同参画の推進を目指す人材を育成するため、男女共同参画推進員活動を推進している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	DV防止対策事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年	改正 内容	吹田市立男女共同参画センター条例					
(2) 直近の改正	平成14年							
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、吹田男女共同参画推進条例、吹田市立男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	50	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	女性に対する暴力とDVの根絶 DV被害者の自立支援を促進するとともに加害者を作らせない社会を実現する。						
(7) 事業概要	DV被害を受けている女性のためのカウンセリングによる相談を実施しているほか、予防のための啓発事業やWリボンバッジの販売を促進している。また、NPO法人と連携しデートDV予防啓発事業に取り組んでいる。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		3,775	3,381	3,145	2,516	3,861	
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		総額(B)	千円	5,810	5,810	5,847	5,628	5,720
	総事業費(A+B)		9,585	9,191	8,992	8,144	9,581	
	特定財源(C)		750	2,042	2,018	1,364	2,018	
	(内訳)	国	0	0	0	0	0	
		府	0	0	0	0	0	
		その他	750	2,042	2,018	1,364	2,018	
	市負担(D)		8,835	7,149	6,974	1,152	1,843	
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		8,835	7,149	6,974	1,152	1,843		
財源計(C+D)		9,585	9,191	8,992	2,516	3,861		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① NPO法人 湘南DVサポートセンター					
			② 吹田傾聴「ほほえみ」					
			③					
	主な委託内容		DV被害者自立支援や若年層に対する啓発等					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 DV相談実施件数	目標値	(単位:回)	108.00	105.00	108.00	
			実績値	(単位:回)	72.00	61.00		
			達成度(%)		66.7	58.1		
	目標値の積算方法	相談来所人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		127.65	41.25	
				一般財源(単位:千円)		99.29	18.89	
	②	指標内容 中学校、高等学校、大学などでデートDV予防啓発授業を受講した人数	目標値	(単位:人)	1,570.00	1,903.00	3,098.00	
			実績値	(単位:人)	1,903.00	3,098.00		
			達成度(%)		121.2	162.8		
	目標値の積算方法	昨年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.83	0.81	
				一般財源(単位:千円)		3.76	0.37	
(2) 成果指標	①	指標内容 「女性のためのDV相談」利用者の満足度が80%を超える割合(平成26年度に実施 未記入者は除く。平成27年度は未実施)	目標値	(単位:%)	100.00	0.00	100.00	
			実績値	(単位:%)	88.89	0.00		
			達成度(%)		88.9	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		103.40	0.00	
				一般財源(単位:千円)		80.43	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活動内容	ダブルリボンを旗印に、DVや児童虐待防止講座やイベントを10月～11月に集中的に開催し、意識啓発を行う。		目標	DVや児童虐待防止のための深い理解と関心が広がり「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現を目指す。		
	②	成果内容	各講座やイベントの参加者及びダブルリボンプロジェクト基金への寄付などによりダブルリボンの趣旨への理解が深まり、暴力根絶へと意識啓発される。		達成状況	DVや児童虐待など暴力のない安心安全の状態です。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>総合的なDV防止対策事業として平成23年度より「予防」「相談」「発見」「フォロー」の4つについて、行っている。特に、専門家によるカウンセリングであるDV相談と「DV相談室」、センター主催の被害者自立支援講座との連携により、中長期的に切れ目なく支援が必要な被害者にとって有効な事業となっている。</p> <p>またダブルリボンを旗印に進めている「ダブルリボンプロジェクト」については、吹田市民全員にDV防止についての深い理解と関心が広がるように、啓発グッズ等を工夫して広く広報に努めた。</p> <p>なお、若年層(中学・高校・大学)におけるデートDV・DVの予防啓発出前授業等はニーズも高く、依頼が多いが、専門のNPO法人と育成したユースリーダーで行うだけでなく、研修や経験を重ねた男女共同参画センター職員の出前授業のほか、各学校で予算措置を行うなど、受講者数が増えているが事業費は拡大しない持続可能性が高い事業となっている。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01361				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	01361
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

DV相談は継続相談になることも多く、新規の相談枠を確保することや緊急の相談の場合もあること等から、平成28年度からはDV相談の相談日を拡充する予定である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度からDV防止対策事業を実施し、相談窓口の強化や制度の周知を図り、「ワリボンプロジェクト」でのガンバ大阪との啓発イベントの実施や「ワリボンバッジ」の作成・販売等、精力的に取り組んできた。今後も引き続きワリボンマークを普及し、相談ニーズの掘り起こしと予防啓発に努めていきたい。平成26年3月に設立されたダブルワリボンプロジェクト基金を基軸に、平成27年度は啓発リーフレットの作成や母子訪問・傾聴事業の実施等、DV被害者の継続した自立支援に重点を置いた対策を進めてきた。またデートDV予防啓発ユースの育成及び出前事業にも引き続き取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画センター啓発事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室男女共同参画センター	室課長名	畑澤 由佳

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	男女共同参画基本法、男女共同参画推進条例、男女共同参画センター条例、男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	1	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	3	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民および事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	男女共同参画推進に対する意識啓発と当センター事業の周知を広く行う。												
(7) 事業概要	当センターの機関誌である「ソフィア」を男女共同参画推進員(広報スタッフ)とセンター職員が協同して作成・発行している。発行は年3回で、市内公共施設や近隣女性関連施設、市内事業所、金融機関、駅、理美容店などに配布している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	24	大事業	5	中事業	2	小事業	5
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	1,337	1,409	1,337							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	0	0	2,506	2,412	2,451						
	総事業費(A+B)		0	0	3,843	3,821	3,788							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	1,337	1,409	3,788							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	1,337	1,409	3,788								
財源計(C+D)		0	0	1,337	1,409	3,788								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	配布数	目標値	(単位:部)	15,000.00	15,000.00	15,000.00
			実績値	(単位:部)	17,364.00	17,217.00	/	
		達成度(%)			115.8	114.8		
	目標値の積算方法	発行時配布部数×3号 (庁内含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.08
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.08	
	②	指標内容	広報スタッフ活動人数	目標値	(単位:人)	15.00	15.00	15.00
実績値				(単位:人)	20.00	18.00	/	
達成度(%)				133.3	120.0			
目標値の積算方法		3号延べ人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		78.28
				一般財源(単位:千円)		0.00		78.28
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	男女共同参画の視点により構成された啓発誌を企画・編集する。年に3回発行し、市内各所に配布する。			目標	紙面を読み易く工夫し、また市内各所に配布することで市民の目に触れやすくし、意識啓発に繋げる。	
	②	成果内容	センターが周知されることと、市民が男女共同参画を身近なものと捉え理解が深まること。			達成状況	センター周知の一助となり、また男女共同参画社会の推進にも寄与したと考える。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		センターの機関誌であるソフィアは市民に男女共同参画推進意識の啓発を促し、またセンター事業を周知することを目的として発行しており、現在では市内公共施設や全国の女性関連施設を含めると1000以上の企業・団体・個人に配布を行い、また施設等には配架を依頼している状況である。 企画・編集においては、市民スタッフである男女共同参画推進員(広報スタッフ)と協働することで、市民目線で男女共同参画推進の視点に立つことができ、より一層の啓発につながると考える。また広報スタッフ自身もソフィア発行に携わることで、男女共同参画推進への理解を深めることができている。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	01404				

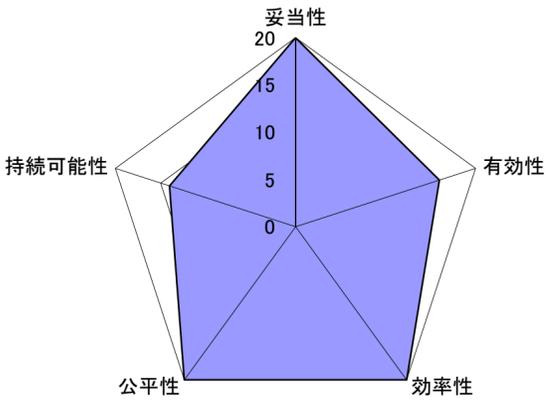
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画センター	事務事業番号	01404
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>センターの機関誌である「ソフィア」を発行し市内各所に配布することで、センターの存在を知らない市民に対してもセンターの存在を周知することができ、センター利用者を増やすことや男女共同参画に関して興味関心を持つ機会を増やすことにつながっていると考えられる。          今後は紙面を工夫するなどして、より多くの方の手に取られる内容となるよう目指していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)